

鋼製の横断防止柵や転落防止柵の取替え時、柱の状態が良好であればケレン・再塗装することにより鋼製柱仕様の木製ビームや木製パネル柵へのリニューアルが可能です。これは、**1. 工費縮減 2. 廃棄物縮減 3. 短期施工 4. 景観対策 5. 鋼製柱の有効利用 6. 地域木材の有効活用** にすべて繋がり、無理なく地域木材が利用できる方法です。ご計画の箇所があれば提案書を作成します。お気軽にご相談下さい。



施工前の現況

鋼製柱を景観塗装し現況の鉄製ビームを木製に変更できないかとのご相談から計画されました。



⑤ 木製ビーム取付

柱部の塗装が乾いてから木製ビームを取付ます。ビームはΦ120を使用。



① 削孔

ブラケットを柱に固定する為の穴あけ作業です。安全のため、ビームを外す前に行います。



⑤ 木製ビーム取付



② ビーム・ブラケット取外し



⑥ 袖部のブラケット取付

袖部は強度を持たせる為、中間部と異なるブラケットになっています。



③ ウッドレール用ブラケット取付

ブラケット1個に付き、ビス4本で取付けます。



⑦ 完成

ガードレール柱の親ボルト部の穴をふさぐ位置に反射シートを貼って完成です。



④ 柱部塗装

泥落とし・ケレンの上、足元をマスキングして塗装します。



⑦ 完成